

# 平成31年度市政懇談会会議録

開催日時：平成31年4月26日（金） 午後6時00分～午後6時50分

開催場所：緋の郷円形交流館 多目的ホール

参加者：119人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

大澤総務部長、細井企画部長、木暮財政部長、新井市民部長、浅見環境部長、  
大山健康推進部長、須永福祉こども部長、町田長寿社会部長、栗田経済部長、  
小暮建設部長、六本木都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、  
五十嵐消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、斉藤会計管理者、下城議会事務局長、  
光山監査委員事務局長、村井教育部長

## 1 開 会 司会進行（企画調整課長）

## 2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介

## 3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。ご紹介いただきました五十嵐でございます。

本日は大変お忙しい中、また、夜分でお疲れのところ市政懇談会に多くの皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。この市政懇談会でございますが、年度初めにこの一年伊勢崎市がどんな方向で事業を進めていくか、いくつか具体的な事例を挙げながらご報告をさせていただき、また、皆様からご意見など伺いながら、良いまちづくりを進めていきたいという趣旨で開催をしているものでございます。全体を通して1時間いただいておりますが、最初の30分ほどご報告をさせていただき、その後、皆様からご質問などありましたらお受けしたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。ぜひスクリーンをご覧くださいながら、話を聞いていただければありがたいと存じます。それでは始めさせていただきます。

## 4 重点政策の概要

- (1) 平成31年度重点政策について <市長説明>
- (2) 質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

### ◆コミュニティバスの運行経路について

#### 【質問】

私は、コミュニティバスの宮郷・名和連絡バスを利用しています。その路線は、市役所から新伊勢崎駅に行き、新伊勢崎駅から市役所に戻り市民病院に向かいます。1回行ってまた戻るということが無駄な気がしますので、経路の見直しをしていただきたいと思います。

## 【回答】（環境部長）

コミュニティバスあおぞらについては、平成20年度に改編し、現在10路線ございますが、様々な意見が寄せられ、現行での運行となっております。コミュニティバスに関する意見については、交通政策課で意見を取り纏めており、また、平成30年度から有料化いたしましたので、市民アンケートを実施し、様々な意見を伺う中でどのように見直しが出来るかを検討しております。今後についても何かご意見がありましたら仰っていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

## 【質問者】

そういうことであれば新伊勢崎駅ではなく、伊勢崎駅経由が一番ありがたいです。この経路だけは新伊勢崎駅のみで、他の経路は伊勢崎駅経由になっています。可能であれば乗車率の良い伊勢崎駅経由にしてほしいと話をしている利用者もいます。ぜひ、その点も考慮し検討していただきたいと思います。

## 【回答】（環境部長）

そちらの意見も含め、今後検討させていただきます。

◆幼児教育・保育の無償化、液体ミルクの備蓄について

## 【質問】

先ほど市長から平成31年度の主要事業についてご説明いただきましたが、時代は平成から令和に向かっていく中で、改めて市民に向けて市長のご決意をいただければと思います。

私は民生委員児童委員を仰せつかっています。その中で、地域の高齢者や子どもに関する支援を含め、日々活動させていただいています。

今年の10月1日には消費税が10%に引き上げられる予定です。そして、国においては少子高齢化が進む中で、出生数の向上や生涯に渡る人格形成の礎を担う幼児教育の重要性から、保育料を含んだ幼児教育の負担軽減をすべく、幼児教育・保育の無償化が閣議決定され、実施に向けた法案が国会で審議中だと思います。具体的には、消費税改正に伴い、税収の増加分が財源の一部となり、3歳から5歳のお子さんのすべての利用料を無償化するという事で消費税改正に合わせて10月1日から施行予定となります。

数年前から実施に向け、遺漏のないよう各自治体に向けての説明会や実務的な作業を十分指導しているということですが、無償化にあたり伊勢崎市では具体的に人的、予算的な問題点などがありましたらお聞かせいただければと思います。

また、乳児の取組として、他の自治体で母乳の代わりとなる乳児用液体ミルクの備蓄を平成31年度に実施したと聞きました。これは、粉ミルクを使えない災害時に備え導入するという事で、最近では熊本地震の際にヨーロッパの国から救援物資として提供され非常に注目されたということも伺っています。安心安全なまちづくりという観点から現状のお考えがありましたらお聞かせいただければと思います。

## 【回答】（市長）

平成から令和に向けての決意についてのお尋ねと思いますが、振り返ってみますと、平成は全国的にも災害が多かった時代ではないかと言われております。

本市においても8年前の東日本大震災の際には、多くのご家庭で屋根瓦などが破損するなどの被害がありました。また、5年前には積雪が80センチを超えたであろうという雪害がありました。この時も農業用ハウスのおよそ9割が倒壊し、車庫、カーポートの倒壊などもかなりの数に上りました。このような事態の際に、特に5年前の雪害においては、国や県の支援をいただきながら市も最大の努力をさせていただき、再建に向け9割補助を実施させていただきました。100%とはいきませんでした、9割を超える農家の方が復帰をしていただいたと思っております。

これから新しい時代を迎えるわけですが、先ほども防災、防犯体制ということを申し上げましたが、市民の皆様が安心して過ごしていただけるようまちづくりを進めていきたいと考えております。

ご質問の2点目、10月の消費税増税に合わせての幼児教育・保育の無償化でございますが、これはまだ国の制度設計が煮詰まっていないように聞いております。一部には幼児教育・保育料については無償化するけれども、これまで保育料に含まれていた給食費は保護者の実費負担になるようではありますが、その実費というのは、子どもの年齢によっても異なりますが平均すると1人1カ月4,500円とされています。ただ、実際には国の制度とは別に本市独自の減免制度がありますので、4,500円以下でお預かりしている方もいます。そのような方の負担増にならないよう、これから国の制度設計を確認しながら対策をとっていかねばと考えております。

それから消費税対策については、経済的に厳しい家庭において今年度からではありますが、小中学校に3人以上在籍している家庭の第3子の給食費無償化を実施しており、少しでも子育てのお手伝いをしていかねばと考えております。

#### 【回答】（総務部長）

乳児用の液体ミルクについて、お答えさせていただきます。液体ミルクは粉ミルクと比較して賞味期限が短く、割高という事で、本市においては現在備蓄をしておりません。具体的には、金額で約4倍、賞味期限においては3分の1ということですので、今のところは考えておりませんが、国が今年度に、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を改定する予定となっております。それに付随する事例集に具体的な取り扱いを取り上げるという事で、その影響を見ながら今後検討させていただきます。

#### その後の対応状況

液体ミルクの備蓄については、粉ミルクと比較して賞味期限が短く割高なことから、備蓄はしておりません。今後の技術改良などにより賞味期限が延長された場合には、他市の状況などを参考に備蓄について検討させていただきます。

#### ◆乳幼児健診の会場について

##### 【質問】

乳幼児健診の会場が赤堀保健福祉センターだとお聞きしました。乳幼児に遠出をさせたくないと思うお母さん達がなぜ遠くまで行かなければならないのか、と疑問に思ったものですからそこをぜひお聞きしたいと思えます。

もう一つは、市民病院の隣の健康管理センターの年数が40年以上経つという事で、赤堀のような面積の取れた健康管理センターの建築、場所も検討していただきたいと思いま

す。

【回答】（健康推進部長）

乳幼児健診の会場についてという事ですが、会場については、これまで健康管理センター、赤堀、あずま、境の各保健センターの4会場で行っていましたが、4会場の内のあずま、境の保健センターについては待合室や健診スペースが狭く、駐車場が少ないということから来場する方にご迷惑をお掛けしてきたということがあります。

また、今年度から5歳児健診を市内の63園で実施していくなど、子どもの健診を充実、拡充していく中で、どのようにしたら安全に質の高い健診を行うことができるだろうかということで検討した結果、建物や駐車スペースも比較的広い健康管理センターと赤堀保健センターの2カ所に集約させていただきました。乳幼児健診は健康相談や発達発育の状況を医師が確認する重要な健診です。今回の会場は、市内の子どもの数で割り振りした結果、一部の地域の皆様にはこれまでより遠い会場にお越しいただくということでご迷惑をお掛けいたしますが、今回の変更は安全で質の高い健診を行うためということでご理解をいただきたいと思っております。

また、健康管理センターについては、確かに老朽化しており、市としましても建替を検討していかなければならないという事で、今後市の計画に載せた中で建替えの計画を進めていきたいと考えております。

【質問者】

どのようなことがあっても赤堀まで行かないといけませんか。

【回答】（健康推進部長）

多くの方が車で会場までお越しになるということですが、この会場でないと行けないという事情があれば、遠慮なく健康管理センターに連絡をしていただくようお願いいたします。

【質問者】

連絡をしなければいけないのですか。それとも自由に選ぶ形にはならないですか。

【回答】（健康推進部長）

自由という事ではなく、原則として割り当てをさせていただいておりますので、どうしても事情で変更したいということであれば、事前にご連絡をお願いいたします。

【回答】（市長）

医師や臨床技師、医師会などをお願いをしなければいけないものですから、365日いつでも受けていただけるものではございません。そのため、こちらから通知を差し上げ、日時と会場を指定するということですので、その日都合が悪い場合にはご連絡していただくようお願いいたします。

◇閉会あいさつ（市長）

皆様には本日、大変夜分でお疲れのところ、このように大勢の皆様にお集まりいただき、

本当にありがとうございました。また、先ほど皆様から貴重なご意見を頂戴して本当にありがとうございました。現在の伊勢崎でございますが、一番の目標としているのが、将来に渡って人口が減ることのない元気であり続ける伊勢崎を目指しております。

お陰様で昨年10月1日現在の国の調査によりますと、直近1年間で人口が減っておらず、約700人を超える人口増となりました。こうした状況をこれからも引き継いでいきたいと思っておりますし、そのためにも皆様と一緒に住みよい安心安全なまちづくりを進めていきたいと思っております。本日は限られた時間でしたので、他にも皆様からご意見などがあるかと思いますが、いつでも結構でございますので、お気づきの点がございましたら担当にお伝えをいただければありがたいと思っております。皆様と一緒にこれからも素晴らしい伊勢崎をつくるために努めていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

## 5 閉 会（企画調整課長）